

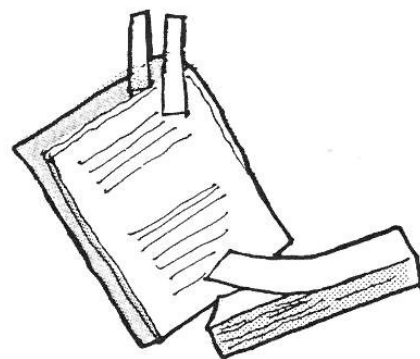
# 望遠鏡



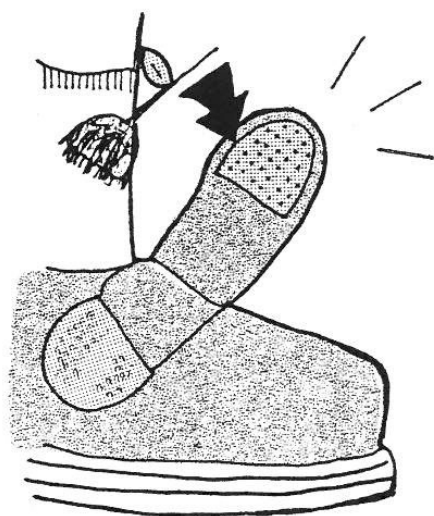
望遠鏡は、オランダの眼鏡師が老眼鏡と近眼鏡を偶然重ねてかけてしまったことにありました。この時、遠くにある教会の塔が大きく見えることに気がついたことがきっかけです。老眼鏡(凸レンズ)と近眼鏡(凹レンズ)を組み合わせて望遠鏡を作り1608年に特許出願されたそうです。

アメリカの化学メーカー研究員が強力な接着剤を開発中に全く逆の非常に弱い接着剤を作ってしまう用途が見つからず困っていた所、同僚が本のしおりにすることに思いついたそうです。今では応用されてコンピュータのデスクトップ上でも付箋の役割を果たすアプリケーションも開発されています。

# 付箋



# マジックテープ



スイスの登山家が山歩きをしている時に、スポンヤクツ下にしつこくくっつくキク科の雑草「オナモミ」をつまみでは捨てつまみでは捨てをくり返しているうちに「これでファスナーをつくれるかも…」と思いついたのがきっかけです。試行錯誤の末1950年半ばに現在のマジックテープの原型ができました。

君たちの周りにもヒントはひそんでいます!

# 偶然から大発明

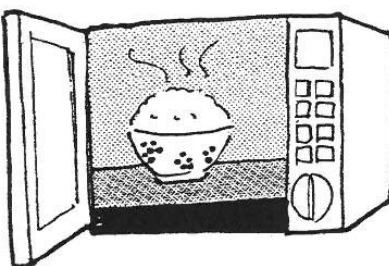
発明のヒントは生活の中から...

# シュレッダー

個人情報の流出を防ぐために今では家庭での普及率も伸びているシュレッダーですが開発のヒントは、なんと!うどんの製麺機にありました。小麦粉をこねて機械に通すと細長い麺になて出てくるうどんを見てひらめいたそうです。シュレッダーは日本の文化を基に開発販売され、今や世界のオフィスの必需品です。



# 電子レンジ



終戦後、レーダー(マイクロ波を発生する磁電管)の平和利用を研究していたアメリカの研究者の実験中に起きた出来事がきっかけでした。冷蔵庫の中のチョコバーがとけていることを疑問に思い近くに、ポップコーンの素を置いてみた所ふくらんではじけたのです。こうしてマイクロ波のエネルギーが食品を加熱することを発見し電子レンジが誕生しました。

# テフロン

フッ素樹脂の一つ PTFE

こげつかず、傷つきにくいと定評のフライパンのテフロン加工。これも偶然から生まれました。フランスの研究員が新しいフロンの開発中にTFEガスをポンプに入れドライアイスで冷やし一晩おいてしまった所、ポンプの中に新しい物質ができていました。この物質を分析すると、「薬品に強く、水で腐食しにくい」という性質があることがわかりこの物質に「テフロン」と名付け後にフライパンに利用されたのです。

